

# OLMS プラットフォーム 構築手順書

2008年10月20日

(Linux)

Ver.1.0.1

本ソフトウェアは日本電信電話株式会社が公開している OpensourceLMS(注 1) をエヌ・ティ・ティ レゾナント株式会社が改変したものである。

注 1) <https://www.oss.ecl.ntt.co.jp/lms/>

## 主な改変項目

---

### ソフトウェア改変履歴

No.	更新項目	変更事由	版数	更新日
1	新規作成	新規作成	1.0.35	2008/1/29

- ・ **学習履歴格納処理高速化**  
LMS と SCORM2004 学習エンジン間でやり取りする学習履歴データの形式を変更し、処理を高速化した。
- ・ **学習者数の上限 (31,999) の解消**  
学習の中断再開データの管理方法を変更し、ディレクトリ制限問題(ディレクトリ内のファイル数上限 31,999)を回避し、学習者数の上限を解消した。なお、中断再開データの管理方法を変更したため、従来の OpensourceLMS で学習中の学習履歴情報の一部は改変後の OpensourceLMS では引き継がれない。
- ・ **学習者ビュー切替え (新ビュー)**  
新しい学習者ビューを追加し、従来のものと切替え可能とした。新学習者ビューでは、クライアント側 PC に JavaRunTime 不要。  
(新学習者ビュー画面はサンプルとして提供しているもので、弊社のロゴ等が含まれています。本ソフトウェアを利用される方が修正しお使いください)
- ・ **アサイン表示反転問題の解消**
- ・ **バグ修正**

## 本ドキュメントの改訂履歴

---

No.	更新項目	変更事由	版数	更新日
1	新規作成	新規作成	1.0.0	2007.9.25
2	誤記訂正	誤記訂正	1.0.1	2008.10.20